

〈自分がかがやく みんながかがやく 葉鹿小〉

ひこやがわ



学校と家庭と地域をつなぐ通信を目指して

R6. 6. 6

葉鹿小学校校長 安藤 佳子

葉鹿小学校ホームページアドレス

<http://hajika.ashi-s.ed.jp>

みんなで作ろう！

楽しい葉鹿小学校



5月の講話集会の時、「葉鹿小学校を自慢できるような楽しい学校にしよう！」という今年のみあてについて話をしました。「『楽しい学校』って、どんな学校かな？」という問いかけに、子どもたちがたくさん意見を考えてくれました。校長室前の掲示板には、たくさんの意見が書かれた付箋が貼られました。（写真のように）「楽しい」とは、好きなことだけやればよいのではなく、自分のことだけ考えればよいのではなく、葉鹿小にいるだれもが楽しいと思える学校だという思いが伝わるたくさんの意見が集まりました。



このたくさんの意見を集約したキーワードがこちらです。



「明るい」「元気」「楽しい」「仲良し」「やさしい」「協力」「チャレンジ」「努力」です。そして、「笑顔」と「あいさつ」があふれる葉鹿小を目指していこうということになりました。この後は、高学年を中心に、どんなことができるか、どんなことに気を付けていこうかを考えていってほしいと思っています。

これからの学校生活の中で、これらのキーワードをもとに、葉鹿小がもっともっと楽しい学校になるために、みんなでアイデアを出し合っていきましょう。葉鹿小の子どもも先生も、保護者の方も地域の方も、みんなが「自慢ができる楽しい葉鹿小」と思える学校づくりに、みんなで取り組んでいきたいと思っています。

まもなくプールの季節がやってきます！

いつのまにか太陽の陽ざしも強くなり始め、いよいよプールの季節が近づいてきました。6月3日に、6年生が水泳学習の準備のためにプール清掃をしてくれました。しばらくの間、放っておかれたプールの水は、とても入りたいたいと思えない状態でしたが、6年生のみんなが、プールサイドや水道、トイレ、プールの中をきれいにしてくれました。そして、水色がまぶしいプールによみがえりました。6年生のみなさん、先生方、ありがとうございました。

これからプールに給水し、みんなが楽しみにしている水泳学習の準備が整います。みんなで元気にプール開きができるように、体調を整えておきましょう。



子どもの学びの応援隊として・・・

今年度よりPTA活動の中に、「学習支援」「行事支援」が新設されました。5月には、2年生の生活科でのさつまいも畑の準備と3年生社会科の校外学習引率の学習支援をお願いしました。5月29日には、2年生がさつまいもの苗を植えるために、畑に黒いビニールシートを張っていただきました。畑の土が少し硬くて大変でしたが、11名もの支援の方々のおかげで予定より早く終わることができ、翌日には2年生が苗を植え付けすることができました。3年生の社会科では「葉鹿のまちをたんけんしよう」の校外学習で、グループごとに北コース、南コースに分かれて探検しました。7名の支援の方にグループについていただき、安全面の見守りをお願いしました。3年生は、見つけたものを地図に書き込みながら、葉鹿の町を調べました。支援の方がいてくださることで、安心して校外学習をすることができました。ご支援いただいた方からは、「子どもたちが一生懸命でかわいかったです。」「一緒に地区を歩いて、楽しかったです。」という話を聞くことができました。



6月4～6日は新体力テストを実施するために、行事支援の方にご協力いただきました。3日間で延21名の方に、体育館と校庭で行う5種目のテストを行う子どもたちの支援をしていただきました。2学年ずつの実施なので、上学年が下学年の面倒を見ながら行ったのですが、安全にできるよう声をかけてくださったり、誘導してくださったりと大変助かりました。子どもたちも、保護者の方に見ただけで、うれしそうでした。「みんながんばっていて、こっちが癒やされました。」という感想をいただきました。

今後も、いろいろな機会にご支援をお願いすると思います。日頃の子どもたちのがんばる姿を見ていただくとともに、子どもたちの学びの応援をしていただければと思っています。よろしくお願いいたします。



～ かがやけ！葉鹿っ子 ～



葉鹿小学校では、1年生から6年生までの縦割り班を編制し、児童会行事や清掃活動、共遊など異学年での交流の機会を多く設けています。子どもたちの自主性・主体性が育つ場としても、上級生のリーダー性を育てる場としても、大切であると考えています。今年は、各班11～12名で30班のここにこ班が編制されました。1年生も5月からは上級生と一緒に清掃活動にも取り組んでいます。6年生が1年生を迎えに行き、一緒に活動場所に行ってくれます。共遊の時間には、下級生のことを考えながら、遊ぶものを話し合っ楽しく遊んでいます。

こういった活動を通して、上級生は下級生に対して思いやりの気持ちをもって行動したり、高学年はリーダーとしての自覚をもって行動する力が身に付いてきます。1年生と6年生が手を繋いで校庭からもどる姿は、とても微笑ましく頼もしく感じます。今後も児童会活動を中心として、様々な場面で異学年交流の場をつくり、子どもたちの心を育てていきたいと思っています。